第４学年１組　外国語活動学習指導案

令和５年１１月２２日（水）５校時
男子１６名　女子１６名　計３２名
指導者　ＨＲＴ　　：佐仲　健太
ＡＬＴの代役：山本　信子

１　単元名　　Unit７　What do you want?

２　単元の目標

○　食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむことができる。
【知識及び技能】

○　欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】

○　相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】

３　単元について

〇単元観

本単元は、身近な食材や料理を題材とし、自分の欲しい食材について「What do you want ?」等の表現を用いながら、伝え合ったり話し合ったりする表現ができるようにする単元である。また、これまでに学習してきた「Do you like ～ ?」や「Do you have ～ ?」等、既習の表現や英単語も用いながら、自分が欲しいものが何かを考えて要求したり、相手が好きなものを考えてやり取りしたりする。そうすることで、相手意識をもちながら意欲的に自分の考えや気持ちなどが伝わるよう、工夫してやり取りができるようにする価値ある単元である。さらに、外国の市場の様子を見たり外国の料理について聞いたりすることで、日本と外国との生活や考え等の違いを知ることもできる構成となっている。

児童はこれまで、多くの英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、友達や指導者と簡単なコミュニケーションを図る経験を積み重ねてきている。それらの経験を生かして、本単元でもお互いの好きなものや欲しいものを伝え合うために、二往復以上のやり取りがスムーズにできるよう指導していく。

〇児童観

外国語学習に関する本学級の児童の実態は、下記の通りである。（単位：人）

	思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない
①外国語の学習は好きですか。	２０	９	２	０
②外国語を話すことは得意ですか。	７	１４	９	１
③外国語は大切だと思いますか。	２６	４	１	０

本学級の児童は外国語の学習に対して、「好き」や「得意」と答えた児童が半数以上おり、日頃の授業の様子からも、外国語活動に主体的に取り組み、楽しんでいることがわかる。一方で、「あまり得意ではない、得意でない」と答えた児童も１０名おり、正しく発音したり正確に伝えたりしなければならないと考えていることが推察される。しかし、これまでの学習の中で、友達との会話ややり取りなど、英語によるコミュニケーションを意欲的に行っている様子が大いに見られた。また、全体での発表の活動でも進んで自分の思いや考えを発表しようとする児童が増えてきている。

また、「英語を学習する理由」については、「学習が楽しい」、「外国の人と話したい」など、今現在の外国語の学習や生活の中で、やりがいや意欲をもっていることがわかる。また、「将来の仕事に役立つ」と答えた児童も多く、自分の将来を見据えたときにも外国語を学んでおく必要があると感じたり考えたりしている児童も多い。

以上のことから、本単元の学習では、既習の英語表現や新出の英語表現に慣れ親しむことを十分に行いながら、それを用いて自分の思いや考えを目的や場面、状況に応じて何とかして伝えようとする言語活動を多く経験しながら、学習を進めていく。

〇指導観

指導に当たっては、まず、Ｔ１とＴ２のデモンストレーションをもとに、「祝開店！たくさんのお客さんを集めるお店の魅力的なメニューを考えよう！」という単元のゴールを示し、児童に見通しをもたせるとともに、目的意識や学習意欲を高める。

次に、単元前半から、条件を変えながら、自分の思いや考えを伝え合う言語活動を繰り返し行っていく。そうすることで、児童が食材や自分がほしい物を伝える表現を学ぶ必要性を感じ、その上でＡＬＴやデジタル教科書の発音や各種ゲーム等をもとに、本単元で扱う表現に十分に慣れ親しませ、児童が自信をもって発音できるようにしていく。

本時では、Activity①として、「食材 BINGO」を行う。これにより、野菜やフルーツの英語での言い方や欲しい物を要求したり尋ねたりする表現に十分に慣れ親しむこともでき、楽しくやり取りができると考える。Activity②では、「自分がお店に出したいパフェ」について、それに使う食材（フルーツ）を手に入れるためにお店に買いに行くという設定で、店員と客に分かれて既習の語句や表現を用いてやり取りを行う。その際に、「たくさんのお客を集める魅力的なメニューを考える」という単元のゴールを意識させ、活動するようにさせることで、目的意識や相手意識がより高まるものと考える。

このように単元終末までに、繰り返し既習事項を用いた言語活動を経験していくことで、自分らしく、何とかして自分の考えや思いを伝える資質や能力、意欲を高めていきたい。そうすることで、本校中学年のめざす子どもの姿「外国語でのコミュニケーションを積極的に楽しむ子どもの育成」に迫る学習ができると確信する。

【言語活動の設定】

たくさんのお客さんを集めるために（目的）、自分が必要な食材を伝え合い（場面）、魅力あるメニューを考える（状況）ことで、目的意識や相手意識をもちながら、自分の思いを生き生きと伝え合う主体的な児童の育成につながると考える。

4　取り扱う言語材料

【表現】What do you want? / I want （食材），please. / How many? / （数），please. /

【語彙】食材(vegetable、 potato、 cabbage、 corn、 fruit、 chelly、 peach、 orange、 melon)
日課・時間（[wake up / breakfast / study / lunch など] time）
（既習事項も含めて、児童が使いたい表現や語彙を扱う。）

５　単元計画（全５時間）　本時　３／５

時	目標と主な学習活動	知識・技能	思考・判断表現	主体的に学習に取り組む態度
1	単元のゴールを知り、自分の好きなパフェについて伝え合うとともに、食材の言い方に慣れ親しむ。	(や)	(や)	
2	世界の市場の様子を見て、それぞれの国の違いに気付くとともに、食材を要求したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。	(や)	(や)	
3	お店で出したいパフェを考え、必要な食材を要求したり尋ねたりしてやり取りし、そのパフェを紹介する。　【本時】	(発)	や	や
4	グループで、お店で出したいピザについて考え、食材を要求したり尋ねたりしてやり取りをする。		や	や
5	グループで考えたピザについて、友達と紹介し合う。		発	発

単元のゴール…祝開店！たくさんのお客さんを集める魅力的なメニューを考えよう！

６　単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと〔やり取り〕		新しい店でお客さんに出す自分が考えたパフェやピザの食材を集めるために、相手に伝わるように工夫しながら、欲しい食材について、尋ねたり要求したりして伝え合っている。	新しい店でお客さんに出す自分が考えた魅力的なパフェやピザの食材を集めるために、相手に伝わるように工夫しながら、欲しい食材について尋ねたり要求したりして伝え合おうとしている。
話すこと〔発表〕		新しい店でお客さんに出す自分が考えたパフェやピザを紹介するために、その食材について、相手に伝わるように工夫しながら話している。	新しい店でお客さんに出す自分が考えた魅力的なパフェやピザを紹介するために、食材について、相手に伝わるように工夫しながら話そうとしている。

7　本時の学習（３／５）

（１）目標

既習の表現を使って、自分が考えたパフェに必要な食材を伝え合うことができる。

【思考・判断・表現】

（２）本時の視点

お店で出す魅力的なパフェを考えるという場面を設定し、自分が欲しい食材を伝え合い、やり取りをすることで、児童が目的や場面、状況に応じて既習事項を使って表現を工夫してコミュニケーションをとることができたか検証する。

（３）展開

過程 時間	児　童　の　活　動 学　習　活　動	教師のかかわり・指導上の留意点 ＨＲＴ	 ＡＬＴ（代役）	備考
Warm up ⑩	１　Greeting ○あいさつをする。 気分、天気、曜日、日付などを答える。 ２　Let's Chant 「What do you want?」 ３　Today 's Goal ○単元のゴールを確認するとともに、本時の課題をつかむ。 Today 's Goal パフェに使いたい食材を工夫して伝え合おう。	○天気や曜日、日付について、Ｔ２と分担し、テンポよくあいさつできるよう進める。 ○リズムに乗って楽しく活動できるように、一緒に発音する。 ○単元のゴールの目的を再確認する。 ○本時の学習内容を紹介し、見通しをもたせる。	○天気や曜日、日付について、Ｔ１と分担し、テンポよくあいさつできるよう進める。 ○リズムに乗って楽しく活動できるように、一緒に発音する。	
Main act 1 ⑩	４　Activity① ＜食材 BINGO＞ ○既習の語句や表現を用いて BINGO を行う。 A：What do you want? B：I want ○○（食材）	○デモンストレーションを行い、児童に見通しをもたせる。 ○児童と一緒にコミュニケーションポイントを設定する。	○デモンストレーションを行い、児童に見通しをもたせる。	ワークシート
Main act 2 ⑱	５　Activity② ＜お店で出したいパフェの食材を伝え合う＞ ○デモンストレーションを聞き、見通しをもつ。	○デモンストレーションを行い、児童に見通しをもたせる。 ○コミュニケーションポイントを設定する。	○デモンストレーションを行い、児童に見通しをもたせる。 ○活動中は机間指導で助言する。	ワークシート 評価 【思】 【主】

	○店員と客に分かれ、欲しい食材を伝え合う。 A：Hello! What do you want? A：Yes, I do. How many? A：Here you are. B：I want ○○. Do you have ○○? B：○(数), please. B：Thank you.	○活動中は机間指導で助言する。	○児童の頑張りを称賛する。	
	○中間指導を行う。 前半での気付きをもとに、ポイントを再確認し共有する。 ○グループ内でお互いに自分が考えたパフェを紹介する。	○コミュニケーションポイントを意識して活動していた児童を賞賛し、表現や返答に困ったことを共有する。 ○デモンストレーションをして見通しを持たせるとともに、紹介（発表）の内容を確認する。	○活動中は机間指導で助言する。 ○児童の頑張りを賞賛したり戸惑っている児童の支援をしたりする。	
Looking back ⑦	6　Looking back ○本時の学習の振り返りをする。	○振り返りシートに書かせ、発表させる。	○授業を通しての児童の頑張りを称賛する。	ワークシート評価【主】【思】振り返りシート
	7　Good-bye ○終わりのあいさつをする。	○次時の活動を伝え、本時の授業の終わりをつたえる。	○一緒にあいさつをする。	

（4）評価

既習の表現を使って、自分が考えたパフェに必要な食材を伝え合うことができたかを、行動観察や振り返りカードで評価する。

【思考・判断・表現】

（5）板書計画

Today 's Goal　パフェに使いたい食材を工夫して伝え合おう。

Activity①

〔POINT〕

Clear voice

Activity②

〔POINT〕

Clear voice、Reaction